

EHO! PRESS
(NEWS LETTER)

西京区総合庁舎整備に向けたワークショップ 第3回

区民の交流スペースを考えてみよう！

vol. **3****9.14 SAT 13:30-16:00**

WORKSHOP

より深く話し合うため、興味のある
テーマに分かれて話し合いました。

第3回ワークショップでは、「区民の交流スペース」について話し合いました。もっと深く話し合いたい、という参加者の声を受けて、今回のワークではこれまでの話し合いを踏まえて5つのテーマを設定。それぞれが興味のあるテーマに分かれて、より踏み込んだ内容・アイデアを話し合いました。

参加者：約 40 名

会場：西京区役所 大会議室

＝ 本日のメニュー Today's Menu ＝

1. はじめに / 前回のふりかえり
2. グループ分け / 自己紹介
3. Yes, and ゲーム
4. 話し合い
区民の交流スペースについて話し合う
5. 発表・共有
6. まとめ / おわりに



1 プログラム紹介

第3回ワークショップの流れについて、テキストと写真を添えてご紹介します。

13:30

はじめに・前回のふりかえり

ニュースレターを使い、前回の話し合いの内容（プログラム、ワーク結果など）について時間をかけてふりかえりました。

13:50

グループ分け（テーマ決め）

第1回、第2回で話し合った内容を踏まえて、以下5つのテーマを設定し、グループ分けを行いました。

- 01 活動・発表
- 02 子ども
- 03 やさしさ
- 04 交流しやすい環境づくり
- 05 伝える・伝わる

14:10

Yes,and ゲーム

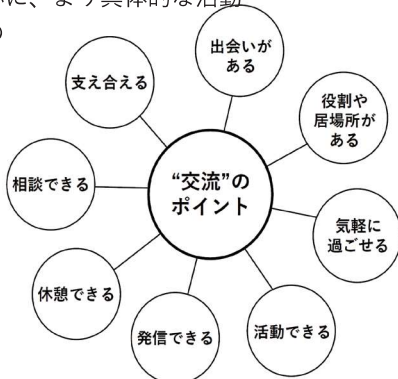
ワークショップを楽しく、和やかに進めるため、Yes,and ゲームを行いました。コミュニケーションのスキルでもある、相手の意見を「いいですね！（Yes）」で受けて「さらにこうしたら…（and）」で膨らませる「Yes,and」を体験しました。



14:25

ワーク「区民の交流スペースを考えてみよう！」

Yes,and ゲームを体験した後、各グループで「区民の交流スペース」について話し合いました。今回は「どこで交流したいか」「どんな交流をしたいか」を中心に、より具体的な活動や過ごし方のアイデアを考えました。



えほー！なアイデアとデザインを紹介

状況シールを活用！！

出てきたアイデアのシーンをより具体的に想像するため、時間・季節・人数の「状況シール」を用意しました。



15:20

発表・共有

それぞれのグループの代表者が話し合いの内容を発表。それ以外のメンバーは発表を聞き、その感想をコメントシートに書き、共有しました。



ワーク結果は次ページへ

15:55

まとめ／おわりに（次回案内）

発表終了後、進行役から全体のまとめを伝え、次回の案内をし、第3回ワークショップを終えました。

2 ワーク結果

5つのテーマそれぞれで話し合った内容をまとめました。

※「誰と」「どんなふうに」交流したいか、その時に「これがあるといい」ものをまとめました。

グループ①

エントランス

誰と	どんなふうに	状況
活動する仲間と	・地域の方に活動をPRしたい	100人
	・活動を紹介したい	30人
	・子ども達の作品展示をしたい (土日の休日にも出入りできればいいな)	日中
学生の	・部活動等の活動ギャラリーがあるとよい	
	・活動を区民に知ってもらいたい	

P.3からP.7のまとめに出てくる「状況」とは、出てきたシーンをより具体的に想像するための指標です。
(P.2「状況シールを活用」を参照)

これがあるといい！

- ・展示用スペース
- ・展示用パネル

活動・発表

オープンスペース

誰と	どんなふうに	状況
多世代で	・木の香りがする場所で交流したい	
農家の方から	・新鮮な地場野菜が買える	春・秋・日中
高校生(農業系)が	・野菜を売る	
みんなで	・気軽に屋外でくつろぎたい	

これがあるといい！

- ・木の香り(癒し)
- ・会議室(色々なタイプ)、ホール
- ・気軽にネット予約
- ・託児スペース
- ・気軽に話ができるスペースや会議室
- ・屋根や大きい庇
- ・オープンスペースは区切ったり、仕切ったりしない
- ・いつもオープン(扉がない)

会議室・打合せスペース

誰と	どんなふうに	状況
様々な団体で	・大きな広い会議室を使用したい	
活動する仲間と	・会議室で企画や相談をしたい (キッズルームがあれば活動中助かるな)	日中
市民団体の方と	・一緒に地域を盛り上げる企画を考えたい	

これがあるといい！

- ・屋上庭園
- ・屋上カフェ

屋上(庭園)

誰と	どんなふうに	状況
みんなで	・くつろぐ	100人
	・お月見をする	30人、秋の夜
	・蕎麦の実を育てたい	日中

明るい室内

誰と	どんなふうに	状況
本が好きな人と (年代は問わずに)	・読書をしたい(例：小学生向けの「源氏物語」を読む等)	
食品ロスに興味のある人と (子供でもOK)	・勉強して皆と一緒に食品ロスを減らしていきたい	
運動サークルで	・ヨガ教室をしたい	日中
仲間と	・ウォーキングしたい	30人

これがあるといい！

- ・広いスペース
- ・防音の壁
- ・カフェスペース

グループ②

子ども

安全

誰と	どんなふうに
親子同士で	・遊んだりおしゃべりしたりしてつながる ・雨の日でも入り口は滑りにくいように

これがあるといい！

- ・ファミサポの活動場所 ・子どもが退屈しない遊具・キッズプレイルーム
- ・安全への配慮（雨の日でも滑りにくい、壁の出隅を丸くする）

交流する場

誰と	どんなふうに	状況
色々な人と	・気がねなくしゃべりたい	日中、夜
パパ友同士で	・広場（休憩スペース）等、屋外で交流したい	日中、休日

これがあるといい！

- ・外で遊べるスペース
- ・休憩できる場所（カフェ、ラウンジ、木陰）

学びの場

誰と	どんなふうに	状況
子どもが	・放課後、ママたちが仕事から帰ってくるまでの間の宿題をする事ができる学習スペース、遊べる空間が欲しい	夜
親子で	・一緒に学習できる ・勉強会や講演会ができる	

これがあるといい！

- ・学習スペース
- ・机、椅子
- ・支援者

カフェ・憩い

誰と	どんなふうに	状況
ママ友と	・ランチしながら気がねなくしゃべりたい	
親子同士で	・くつろぎたい、話をしたい ・飲食したい	30人
同学年のママと	・子育ての悩み相談をしたい ・楽しくおしゃべりしたい	

これがあるといい！

- ・周辺にレストランや外食できるところが少ないので、庁舎内にちょっとした食堂やカフェスペースがほしい

マルシェ

誰と	どんなふうに	状況
大原野の農家の方と	・地産地消のための野菜や加工品の販売をしたい	10人
移住者と	・B級グルメ等、他の地方の魅力に触れる	日中・夜

これがあるといい！

- ・マルシェのような場
- ・特産品販売所

自然な環境

誰と	どんなふうに	状況
子どもが	・体を動かして遊べる ・裸足で歩ける	夏
親子で	・紅葉を見ながらコーヒーを飲みたい	秋

これがあるといい！

- ・外遊びや自然がある
- ・芝生の広場
- ・紅葉の木

情報発信

誰と	どんなふうに	状況
同じ趣味の人と	・交流看板を使った情報の発信	夜
引越しする人と	・譲りたいものをマッチング	

これがあるといい！

- ・WiFi、WEB
- ・譲りたいモノ置場

施設

誰と	どんなふうに	状況
近所の人と	・炊き出しの練習をしたい	日中
外国人・留学生と	・茶道をする ・自然に英語が話せるような勉強の場	5人
働くママと	・話をしたい（安心安全な場所に子どもを預けて働く）	
みんなと	・色んなイベントを実施したい（スポーツの練習等）	昼夜

これがあるといい！

- ・有事の備え
- ・茶室（道具も）
- ・外国人もフラッと立ち寄れる場
- ・土日や夜の利用
- ・体育館、屋上庭園

グループ③ やさしさ

建物全体

誰と	どんなふうに
高齢者・障害者が	・休憩できるとよい（建物入る前のひと休み）
みんなで	・鈴虫の声やコケを使って自然学習
車椅子の人と付き添いの人が	・利用できる車椅子スペースがあるといいな（待合い）
みんなで	・航空写真を使って西京区を展望したい

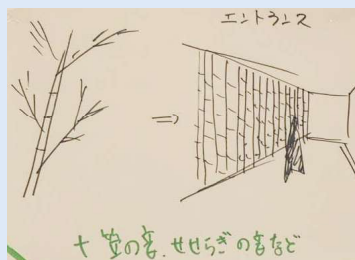
これがあるといい！

- ・椅子（柔らかいソファではなく、硬い木のベンチ（京都の杉木を使う））（*1）
- ・入口から竹が見える+せせらぎの音（*2）
- ・西京区らしさを感じられるデザイン=竹
- ・採光、通風（できるだけ窓を広くし、風を通りやすくする）（*3）

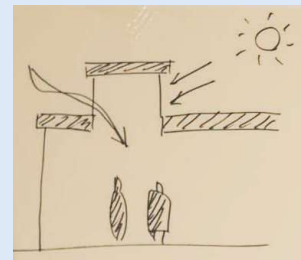
*1



*2



*3



- *1 高齢者は区役所に来るまでに疲れてしまう。建物に入る前にひと休みしたい。柔らかいソファでは立ち上がれなくなってしまうため、硬い木のベンチということが重要。
- *2 西京区を感じられるデザインにしたい。西京区と言えば竹。エントランスに入ると竹が使われていて自然を感じられる。
- *3 エコの観点から通風・採光を考慮した建物にする=地球にやさしい

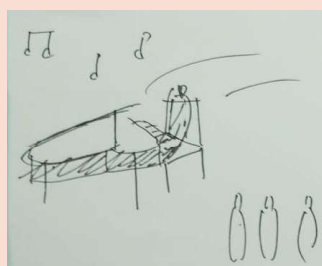
一般市民

誰と	どんなふうに	状況
みんなで	・集まり、交流	
家族や仲間と	・月見や夜景を見たい（*4）	
	・ミニ音楽会（ピアノ演奏）を鑑賞したい（*5）	30人、秋・夜
二人で	・芝生の上で過ごす	

*4



*5



これがあるといい！

- ・ピクトグラムを使用
- ・ユニバーサルデザイン
- ・屋上緑化の庭
- ・天体望遠鏡
- ・木陰とベンチ

*4

休憩できたり、月や夜景を見れる、自然を感じられる場所が欲しい。

*5

音で楽しめるようにピアノを置いてみてはどうだろうか。誰もが耳で楽しめる。

要配慮者

視覚や聴覚の障害者等への配慮

これがあるといい！

- ・点字ブロックはできれば全て黄色に
- ・歩くルートを分ける
- ・手話通訳できる人
- ・点字の読み書きができる人
- ・見やすい色を使うなど弱視者へ配慮（壁が白すぎない等）（*6）

*6



グループ④

交流しやすい環境づくり

シンボル

誰と	どんなふうに
みんなで	・記念樹を植えて記念写真を撮りたい（節目に区役所が関わるとよい）
地元の小学生とその保護者で	・エコについて考えていること、実践していることの発表会（区役所に授業で訪れることもできる）
誰とでも	・音楽が気軽に楽しめる（音があると楽しく、誰かと話していてもいい気がする）
	・かくし芸大会の披露、見てもらう

これがあるといい！

- ・記念樹／モニュメント
- ・市民新聞で取り組みを宣伝する
- ・音楽（BGM）
- ・ステージを置けるぐらいの広場

アウトドア

誰と	どんなふうに	状況
みんなで	・お祭りやイベント（前面道路の利用）	昼
ペット仲間と	・育て方、ノウハウ等や意見交換	昼
誰でも	・災害時の情報の共有	
友人と	・屋外で食事（お弁当等）	
	・食べもの持ちよりパーティー／〇〇食堂	

これがあるといい！

- ・露店を出せるスペース
- ・ドッグラン
- ・公園のように犬を繋げる
- ・防災カフェ（非常時体験）
- ・キャンプする
- ・テーブルと椅子（木製）

世代交流（子育て世代・高齢者・障害者）

誰と	どんなふうに	状況
障害のある人と	・お茶を飲み、会話を楽しむ （障害ある人が喫茶で働くことで就労支援につながる）	30人
乳幼児を持つ親同士で	・子どもを寝かせておいてその間おしゃべり（時間関係なくしゃべりたい） ・子育てサロンが終わってから過ごせる場所があるとよい（夕方、保育園のあとに気軽にいられる場所がない） ・食事を楽しみたい（離乳食を毎回持ち込み）	夕方以降
ママ友と	・ランチしながら子育て相談（情報共有）	
活動団体と	・ミーティング、打合せ、情報交換したい（多様／老若男女問わず）	10人・夜
サークル・団体等、地域住民が	・使える場所があるとよい	30人
誰でも	・気軽に集まれる、居心地がいい場所があるとよい （ごちゃまぜ、使える＋働ける）	
子ども、幼児が	・ひとりでも遊べるスペースがあるとよい	

これがあるといい！

- ・飲食できるスペース（持ち込み）＋お湯、電子レンジ
- ・就労支援事務所との連携
- ・ベビーベッド（寝た子を一時的に寝かせる）
- ・保育所（一時預り）
- ・大小の会議室（拡大もできる、吸音性がある）
- ・プロジェクター、スクリーン
- ・電源等完備（無料）
- ・誰でも利用できる場所（カフェなど）
- ・働くことができる場所（就労支援兼ねる）
- ・ベンチ → 暗がりではなく、オープンで安全な場所に

ひとり

どんなふうに

- ・きれいなトイレがあればふらっと寄れる
- ・待ち合わせをしたい
- ・本を読む
- ・他人の会話を何となく聞きながらぼーっとしたい

その他

こんな場所があるといい

- ・展望風呂
- ・貸出できない図書館
- ・四季が感じられるテラス（芝生）
- ・太陽光パネル→防犯灯、監視カメラ
- ・ミツバチガーデン
- ・ビオトープ
- ・菜園、田んぼ
- ・プール、屋上プール
- ・体育館
- ・セキュリティの強化

グループ⑤

伝える・伝わる

1. 区役所などが大切なことをお知らせする
2. 各々が伝えたいことを持ち寄り、持ち帰る

➡ 「出会い」

区役所

誰と 誰もが	どんなふうに
	・立ち寄り、交流したい ・情報の共有（道の混雑やバス情報など、問合せ等は見やすくシンプルに）
多くの人と	・ランニングを通じて交流（ランニングステーションの設置）

これがあるといい！

- ・カフェの様なスペース ・自販機 ・健康に必要な装置（血圧計等）
- ・着替えれる部屋（シャワーがあれば防災にも！）
- ・防災センター機能（ボランティアセンター・電源・物資供給センターなど） ・カラーモニター
- ・健康診断ができるスペース（少し専門的／無料・予防重視／治療はしない）
- ・外から出入りできる設えにすることで、災害時には防災対応

洛西

誰と	どんなふうに	状況	これがあるといい！
西京管内の人と洛西管内の人で	・情報共有したい	昼	・シャトルバス

文化・子ども

誰と	どんなふうに
親子や青少年が	・周囲を気にしないで話し合える交流できる場や、分からないことがあったとき、調べたり教えてもらえる、青少年博物館があるといい
親子が	・少々騒いでもOKの子ども図書館 ・アナログゲームセンター
子どもやおじいちゃんが	・屋外や屋内でイベントができる場所
異文化・異言語の人が	・相談できる人・仕組みのある場所
サークルや団体等が	・庁舎の廊下等に文化活動を展示発表

周辺環境

誰と	どんなふうに	状況
区民と	・発表（無料／音楽など）を通じて交流したい ・体操やダンスの練習	朝・夜

これがあるといい！

- ・スペースが「いつ」「何時から何時まで」貸し出され、いつ借りれるかを表示するデジタルパネル
- ・マイクなど ・無料で着ぐるみや衣装 ・夜間も安全に利用できる防犯カメラ

寄り道

誰と	どんなふうに
みんなと	・西京区にある企業やお店の情報発信・情報交換 ・色んな情報を共有したい（イベント、団体、防災） ・フリーマーケット等を開催したい
庁舎に來ない人と	・庁舎で何が行われているかが分かる

これがあるといい！

- ・チラシ等が貼れる壁
- ・開かれたイベント
- ・情報ボード
- ・フリマできるスペース

情報発信

どんなふうに / どんな場所が

- ・区役所で行える様々なイベントの情報発信
- ・FM局、ケイタイ基地局

これがあるといい！

- ・twitter、Facebookなどの公式アカウント

持ちよりカフェ

- ・子どもや大人、老人、障害のある方、イベントなど様々な交流の核として総合窓口を兼ねる
- ・皆が情報を持ち寄ることで出会いが生まれ、居場所となるカフェ



3 参加者の感想

今日の感想

- ・普段感じている「こんな街になればいいな」を伝えることができすっきりした。
- ・夢を持っていろいろな発案があり有意義なワークショップだった。
- ・色々なアイデア、意見交流ができた。できるだけ形になってほしい！
- ・前回よりテーマを絞って話せたので楽しかった。若い人が多いチームで、伝わりやすかったのかもしれない。
- ・5チームすべての発表を聞くと重なるところがとても多い（交流の場、カフェ、他世代間の交流など）。
- ・カフェや情報交流の場などチーム共通の意見がはっきりとわかった。
- ・「交流」のイメージではハードとソフトの関係が難しいと感じた。
- ・西京区で活動する様々な方の思い、意見を聞くことができてよかった。
- ・子どもも大人も気軽に行ける区役所になっていけたらいいと思う。
- ・回を重ねる度、いろいろな勉強ができた（私の知らないことなど）、楽しい。
- ・自分が感じていたことを他の人も感じているのだと知ることが出来た。
- ・大勢の人たちが集まると色々なアイデアや想いが出てよかった。
- ・高齢者・子育て世代・障害を持つ方の情報共有の場が重要だと感じた。
- ・深く話し合いができた。多目的スペースと憩いのスペースが必要だと思った。



その他意見

- ・子ども連れ（妊婦・ベビーカー）に優しい環境は、高齢者・障害者にも優しいと思う。
- ・できる限り区切りのないスペースを作ってほしい。
- ・安全やセキュリティと交流活性の両立が難しいと感じた。特に子育て世代など。
- ・「居心地のよい場所をつくる」ということが様々な人や機能をつなぐ根幹になると思う。
- ・子どもの作品展などもできたらよい（毎月テーマを変えて応募する）。
- ・オープンスペースは、通りすがりの人もイベント等に参加できるとよい。その光景そのものが宣伝にもなる。
- ・区役所に用事がなくても来なくなる、という動機づけをもっと煮詰める必要がある。
- ・何かしらの支援をしたいという方の意見も聞いてみたい。そのマッチングが大切。



4 進行役からのアドバイス



コミュニティデザイナー
内海 慎一
(LifeWork)

皆さん、今回もお疲れさまでした。今回は5つのテーマに分かれて取り組んだこともあり、より深くまで意見やアイデアを交換し合えたのではないのでしょうか。今回のワークでは、「どんな交流をしたいか」「そのためにあると良さそうなもの」についてお伺いしました。生活のプロとしての目線からより多くの意見をいただきました。いよいよ次回は、最終回となります。これまでのワークショップの振り返りを行うとともに、今まで3回実施しましたワークショップで話し合ったご意見の見える化（イメージ化）を行いますので、楽しみにしててください。それでは次回もよろしくお願いします！

5 次回案内

第4回

日時：10/19（土）13:30～16:00

会場：西京区役所大会議室

内容：まとめ

最終回

